

HOT LINE

●ほっ、とラインやしお

YASHIO

●ほっ、とラインやしおでは、催しなどの情報をお待ちしています。広聴広報課広聴広報係 電話226、FAX95-7367

文化ともしび賞を受賞

小倉正義さん(八潮二丁目)



3月10日、小倉正義さんが「文化ともしび賞」を受賞されました。小倉さんは、文化協会会長や学校開放講座の講師として生涯学習及び社会教育指導者の先駆的役割を果たされており、その多大な貢献が認められたものです。

受賞おめでとうございませう

小澤 萬寿さん(西袋)



小澤さんは、勲全日本軟式野球連盟役員として30年以上の永きにわたり勤続されました。この間、軟式野球の普及発達に尽くされた功績は多大であり、このたび勲全日本軟式野球連盟から表彰されました。

わが身をかえりみず人命救助

消防協力者に感謝状授与

春の全国火災予防運動最終日で、消防記念日の3月7日、八潮市消防本部で、人命救助を行った松本武幸さん、一ノ木清さん、一ノ木2階にいて逃げ遅れた10歳の女の子が、ベランダにいたのを発見。松本さんが出火建物の庭先にあった梯子でベランダによじ登り、女の子を抱き抱え、下にいた4人に受け止めさせ救出したものです。



皆さんは、「5人の連携プレイで無事救助することができ、本当によかった」と話していました。

新市指定文化財の紹介その1

木曾根の「弓ぶち」



3月9日、市文化財保護審議会(浜野昭会長)の答申を受け、新たに4件の市指定文化財が誕生しました。これで市指定の文化財は、木曾根水川神社の「木曾根の弓ぶち」は、毎年1月15日に行われる八潮地方を代表するオビシヤ行事(的祈事)で、500年前ごろからの祭礼と伝えられています。鳥居と社殿を結ぶ敷き石に鬼(雄・鬼(雌))と墨書した一対の的を並べ、4つの祭り組8人の射手が2本ずつ弓を射り、矢の当たり具合で農作物の吉凶、天候などを占います。

バス停にも春が...

花いっぱい運動

3月13日、市内循環バス「ほっ、と、ドリーム号」の生涯学習館バス停前に、八潮市コミュニティづくり推進協議会の「清潔で安全なまちづくり部会」のみなさんよつと、パンジー500株が植えられました。花壇は春らしく赤、黄、白、青、紫色のパンジーで彩られ、目を凝らしてよく見ると白いパンジーは「ヤシオ」の文字に植えられています。



きつと花たちは、バスを利用して人たちを「ほっ」とさせていることでしょうか。協議会はこのほかにも花いっぱい運動の一貫として、市内のバス停に設置してあるプランターの花の植え替えなども行っています。

八潮市は川によってつくられた!

第2回地図教室



3月17日、県主催の文書館講座 第2回地図教室が、市内外から地理に関心を持つ約30人を集め資料館で行われました。講座は、埼玉大学教育学部助教 授の斎藤享治さんが「地図と地形」八潮市の地形を中心に「一」をテーマに段彩(等高線・等高線間を色塗りすること)した地勢図などを使い埼玉県や八潮市付近の地形・地質の特徴についての講演を行いました。その中で八潮市付近は、河川により土砂が堆積してできた地形で、八潮市の誕生と河川は密接な関係にあったと説明されました。午後は、市職員の案内で綾瀬川周辺の史跡などを巡視しました。

商売上手な人はどんな人?

第6回産業人フォーラム

3月23日、八潮市商工会館で第6回八潮産業人フォーラムが、市内の商工業者を中心に約40人を集め行われました。このフォーラムは、現在産業界が直面している課題を整理し解決策を模索して、産業の発展・まちづくりなどについて、産業界のまち八潮を形成しようという開催されたもの。



当日は、特商売科学研究所所長の伊吹卓さんを講師に招き「商売繁盛でまちおこし」をテーマに、商売で成功するには自分の欠点や間違いを知りたい・人のよい所を見習いたいという気持ちをもつことが大事であると現在の成功者のエピソードにからめて講演。参加者は感心しきりでした。

八潮産業人フォーラム

八潮市商工会・八潮市若手産業人会